

2022/11/07 (月)

朝の礼拝

聖書 詩編 8章 4-5節 (旧約聖書840頁)

あなたの天を、あなたの指の業を
わたしは仰ぎます。
月も、星も、あなたが配置なさったもの。
そのあなたが御心に留めてくださるとは
人間は何ものなのでしょう。
人の子は何ものなのでしょう
あなたが顧みてくださるとは。

天を仰ぐ

ガリレオは「私は天体の動きを明らかにしたが、その月や星がどのように配置されたのかはわからない」と言っています。自分が科学者として明らかにできることと、科学であっても明らかにできない世界を謙虚にわきまえる真の科学者でした。

それはこの詩人が「あなたの天を、あなたの指の業を わたしは仰ぎます」と「あなた」と親しみを込めて神様に呼びかけながら、「月も、星も、あなたが配置なさったもの」と歌っているのと同じです。

しかし私たち人間は初めウイルスと共存していたのに、現代になってウイルスの世界を侵食しパンデミックを起こしました。また弱い私たち人間が分かち合う心によって進化してきたのに、今も奪い合い、戦争を起こし共に滅びようとしています。

この詩人は闇夜に輝く月や星の光に照らされ「御心に留めてくださるとは」「あなたが顧みてくださるとは」と天を仰いで祈っています。愚かな過ちを繰り返す人間を、それでも見守ってくださる神様に、詩人はただ頭を垂れて、胸を打って祈っています。

(しばらく黙想しましょう)

愚かで儂いわたしたちを御心に留め、顧みてくださる主よ、あなたの恵みと導きにより感謝祭、施設訪問での交わり、生徒会を中心とした山梨英和、静岡英和、東洋英和の三校交歓会、そして全校での「おにぎりアクション」の恵みに感謝します。あなたの御心に適う感謝は互いに分かち合い、祈り支え、互いの信頼を深めます。今、世界に広がる感染症で苦しむ人々、凍える季節を迎え断水と停電に震えるウクライナの人々、祖国を追われ家族や友だちの安否を祈る難民の人々、水害や干ばつにより食糧危機にある人々を覚えます。どうかわたしたちが闇夜を歩くような時にも、どうかあなたが光となってわたしたちの足下を照らし導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、感謝と喜びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン